

徳島県立穴吹高等学校



1 学校の概要

- ① 生徒数 253名
- ② 校訓 「日新」 ～日に新た～
- ③ 環境目標・テーマ
～広げよう 学校と地域の連携で取組むエコ
プロジェクト 育てよう 自然を守り、ふるさとを愛する生徒づくり～

- 1. 「節電」「ゴミ分別」「リサイクル」に取り組み、行動できる誠実な生徒
- 2. 地域に出向き、穴吹町内の環境保全活動を通して、自分みがきを実践する生徒
- 3. 実践的・体系的な「人に優しい、地球にやさしい」環境学習に取り組む学校

2 行動方針

- ① ゴミの分別と減量 可燃物・不可燃物・カン・ビンの色別分別
- ② リサイクル運動推進 ペットボトルのキャップの回収 リサイクルペーパー使用
タンボール・雑誌・新聞等の紙資源再利用
- ③ 電気・水の節約 毎月の電気・水道使用量の確認と節約
- ④ 校内・外の美化活動 各部活動による通学路清掃
穴吹川（9月）及び町内（5月・11月）の清掃活動

3 行動

- ① 校内各所のゴミ箱で可燃物・不可燃物・カン・ビン（色別）・ペットに分別回収



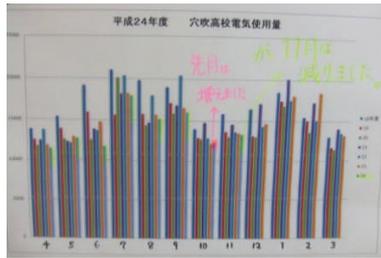
ビンは色別に、ペットボトルはフィルム・キャップをはがし分別回収し、美化委員が収集場所でチェック

- ② 分別により資源化して再使用を促進、ゴミの減量とボランティア活動の一環として



リサイクルペーパーとして使用 専門業者の回収へ エコキャップ協会へ

③ エネルギー（電気・水道）使用量の確認と節約



ISO コーナーに行動方針と電気・水道使用量を掲示

節電・節水シール

④ 校内・外の美化活動



5/30 ゴミ0運動

9/27 穴吹川の清掃

11月クリーン運動

各部活動による通学路の清掃のほか、従来のゴミ0運動、クリーン運動に加え、新たに9月穴吹川の清掃を実施

4 具体的効果

- ◆ ISO 活動開始の5年前に比べ、窓からのポイ捨てはほぼ皆無となり、ジュースやプリント類の置き捨て、ガムの不始末も激減した。生徒の美化意識が高まった結果、校内設置のゴミ箱を5年間で3箇所、計12個のゴミ箱を減らすことができた。
- ◆ 今までに回収しNPO法人に送付したキャップが59368個、これによって削減できたCO²が468kg、送ることができたポリオワクチンが74.2人分になった。
- ◆ 電気・水道の使用量の増減に関して、職員には職員連絡メモに掲載することで、生徒には月1回のアースデイに美化委員が呼びかけることで注意を喚起した。結果、耐震工事期間（であったH21年6月～22年11月）以外の電気使用量は、わずかながらも5年間ほぼ毎月、わずかな例外を除いて減少し続けている。
- ◆ エコキャップの回収をPTA総会などでも呼びかけた結果、家庭からの回収数も年々増加し、環境保全意識を拡大することに貢献しつつある。
- ◆ 通学路の清掃を継続してきた結果、ゴミのポイ捨てもかなり減ってきた上に、各部が交替で清掃することで捨てない意識が広がってきた。

5 改善点

- ◆ 一人ひとりが完全分別で捨てられるよう相互の声かけが必要である。特にビンのキャップを金属に分別できるよう、回収容器を工夫する必要がある。
- ◆ 夏期・冬期、使用していない教室にエアコンが点いていることがあるので、チェックできる方法を考えたい。
- ◆ 家庭からのキャップ回収の個数を増やせるよう、回収方法を再考し、より多くの回収をめざす。
- ◆ 地域への清掃活動をより効果的に実施するために、時期と場所の選定を再考し、参加生徒の裾野が広がる方法を検討する。